

基調講演

モチベーションアップのための土台づくり 「エンカウンターグループ」のヒント（基礎編）

前回の実践行動学セミナーのアンケート結果で、学校関係者の悩みのトップは学生のモチベーション低下。希望講演テーマも「モチベーション向上」が最多でした。教育現場は対面授業に戻りましたが、学生の意欲低下の問題は深刻化しています。

そこで今回は、モチベーション向上のためのヒントとなる「エンカウンターグループ」を取りあげます。「エンカウンター」は出会いを意味し、「エンカウンターグループ」は対人関係の改善を促し、コミュニケーションを活発化します。

モチベーションの土壌となる心理的安全性をどう確保し、学生の主体性を伸ばしていくのか。教育現場や企業での豊富な実例をもとに考え、モチベーション向上のヒントを学んでいただきます。

講演概要

廣川進先生の専門領域は、産業メンタルヘルス、惨事ストレス、そしてキャリアカウンセリングです。学校や企業での現場経験を踏まえた<問題提起>と、その<背景説明>、<解説>という流れを通して、エンカウンターグループの基本を学び、どうモチベーション向上に繋げていくのか考察していきます。

<問題提起> 教育現場の現状

<背景説明> モチベーション低下と問題点の整理

<解説> エンカウンターグループの基礎を学び、モチベーション向上に繋げる

<まとめとリフレクション>

廣川進先生のプロフィール概要

法政大学 キャリアデザイン学部 教授（公認心理師・臨床心理士・文学博士）
1959年生まれ。慶應義塾大学文学部卒業後、株式会社ベネッセホールディングスにて、雑誌編集（『ひよこクラブ』の創刊等）の傍ら、大正大学大学院臨床心理学専攻修士・博士課程を修了。人事部に異動後は衛生管理者としてヘルスケア部門を立ち上げる。2001年退社後、大正大学心理社会学部臨床心理学科教授を経て現職。他、海上保安庁（惨事ストレス対策アドバイザー）などの官公庁や企業、クリニック等で非常勤カウンセラーとして勤務を経験。「職場のメンタルヘルス」「リーダーシップとモチベーション」、「キャリアカウンセリングなどの研修講師も勤める。」
<主な著書>

- ・「心理カウンセラーが教える「がんばり過ぎて疲れてしまう」が楽になる本」
ディスカヴァー・トゥエンティワン
- ・「失業のキャリアカウンセリング 再就職支援の現場から」 金剛出版
- ・「キャリア・カウンセリング エssenシャルズ400」 金剛出版
- ・「これで解決！シゴトとココロの問題」 労働新聞社